

金山町町制施行101周年記念企画

# かねやま未来図

町制施行100周年を迎え新たな一步を踏み出した金山町。「金山の未来」をテーマに各地区からご寄稿いただきました。この節目の年に金山町の未来の姿を想像し、共に希望に満ちた地域社会を築いていきませんか？



▲姥乳観音様(右)、馬頭観音様(左)

## 限界集落の現状とこれから

杉沢地区 区長 <sup>くりた</sup> 栗田 <sup>けさみ</sup> 今朝美さん

四方山々に囲まれた中田春木川の源流が杉沢地区です。約2.5kmの細長い集落の中間にある澄倉山には、かつて雨乞いをした岩円や石の鳥居、天狗の相撲場があり、この山は杉沢の顔です。杉沢の入口には姥乳観音様があり、その昔は盛大なお祭りが開催され、多くの参拝者がいました。そのお堂の近くには、田屋に抜ける峠へい坂があり山頂近くにあった馬頭観音様の御神体を山から下ろして来て姥乳観音様と一緒に祀っています。近年、高齢化が進み単身世帯や二人暮らしが半数以上で、古くからの行事などは各家の負担を減らすために簡素化や廃止を行なっています。また、地区内の花植え、河川の清掃、草刈などは、杉沢地区保全会と協力して、地区内の環境美化に努めています。これからの杉沢を考えると、後期高齢者や単身世帯が増え、地区の運営が大変になると思いますが、お互いに協力して地区の運営を頑張っていきたいと思っています。

【地区】 9世帯/21名 ※令和8年4月末時点

## 合意と工夫で地域を灯す

外沢地区 区長 <sup>くりた</sup> 栗田 <sup>としかず</sup> 利一さん

交響曲「新世界より」第二楽章はお馴染みの曲で、流れてくと金山やこの地区に想いを重ね懐かしさを感じます。紹介するのは新年の第二日曜日、夕方開催の「お歳灯」です。地区の行事に残る数少ないものになりました。午後から作業が始まり夕暮れに点火します。古いお札をお焚き上げて新年の無病息災、家内安全など参加者が願いを込めてお祈りしてから公民館で新年会。仕出しの弁当と菓子のつまみで懇親する恒例の集いです。3月末の地区総会と2つの行事の時に相談事や世間話になり交流が生まれていると思います。それぞれの内容は簡素になりましたが歌詞の「円居せん」の想いが受け継がれていると思います。当地区も高齢化と人口減少で草刈りなどの重労働は1時間程度と申し合わせていて、手の届かない部分は省略します。小さな地区は合意を探して工夫し、安心して生活が続く様にみんなの声を、と感じます。






▲令和8年 外沢地区お歳灯の様子

【地区】 13世帯/33名 ※令和8年4月末時点

編集後記  
5月3日、七日町通りをメイン会場に「金山街市」が盛大に開催されました。今回の街市を語る上で欠かせないのが、「山形大学チーム道草」と「東京都市大学」の学生の皆さんの存在です。学生の皆さんは、朝早い会場設営や車両誘導といった裏方の仕事から、ステーションパフォーマンスや出店運営まで、あらゆる場面で献身的な活躍を見せてくれました。学生たちの町を想うひたむきな協力がイベント全体に大きな活気をもたらしてくれました。街市を盛り上げてくださった28名の学生の皆さんに、心から感謝いたします。

金山町の人口は、4,492人 (4月末現在)

	男性	2,234人 (-5)	▼4月の異動	
	女性	2,258人 (-2)		出生 2人
	世帯数	1,655世帯		死亡 8人 転入 8人 転出 9人